

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年6月29日

広島県知事 様

提出者

住所 広島県廿日市市木材港北10-20

氏名 カルビー株式会社 広島西工場

工場長 毛利 剛宏

電話番号 0829-32-6611

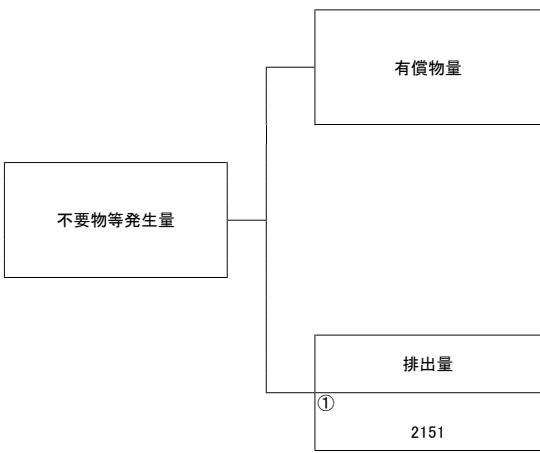
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 2022年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	カルビー株式会社 広島西工場		
事業場の所在地	広島県廿日市市木材港北10-20		
事業の種類	食料品製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値		<b>別紙4のとおり</b>	
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2614 t	全処理委託量	2614 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	208 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2396.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	190 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: )

別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	2151
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	21151
⑪優良認定処理業者への処理委託量	133
⑫再生利用業者への処理委託量	1673
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量  
②  
0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③  
0

自ら中間処理した量  
④  
0

④のうち熱回収を行った量  
⑤  
0

自ら中間処理した後の残さ量  
⑥  
0

自ら中間処理により減量した量  
⑦  
0

自ら中間処理した後再生利用した量  
⑧  
0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  
⑨  
0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩  
2151

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪  
133

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬  
0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭  
0

(第2面)

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3-その1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

( 年度実績 )

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後、再生利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻														
汚泥	1345									1345		1321		
廃油	0									0	0			
廃酸	3									3	3			
廃アルカリ	0									0	0			
廃プラスチック類	135									135	130			
紙くず														
木くず	298									298				
繊維くず														
動植物性残さ	355									355		353		
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	0									0				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1									1				
鉱さい														
がれき類														
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
合計	2137	0	0	0	0	0	0	0	0	2137	133	1673	0	0



別紙4(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

( 2022年度実績)

単位:トン/年

	目標値		実績値
排出量	2614	①排出量	2151
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	②自ら直接再生利用した量	0
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	⑤自ら熱回収を行った量	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	⑦自ら中間処理により減量した量	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
全処理委託量	2614	⑩全処理委託量	2151
優良認定処理業者への処理委託量	208	⑪優良認定処理業者への処理委託量	133
再生利用業者への処理委託量	2396.5	⑫再生利用業者への処理委託量	1673
熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	190	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

産業廃棄物処理計画書

2023年6月29日

広島県知事 様

提出者

住所

広島県廿日市市木材港北10-20

氏名

カルビー株式会社 広島西工場

工場長 毛利 剛宏

電話番号

0829-32-6611

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	カルビー株式会社 広島西工場
事業場の所在地	広島県廿日市市木材港北10-20
計画期間	2023年4月1日～2024年月3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	2022年度生産量 15,010 t
③従業員数	280名（2023年3月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	資料1

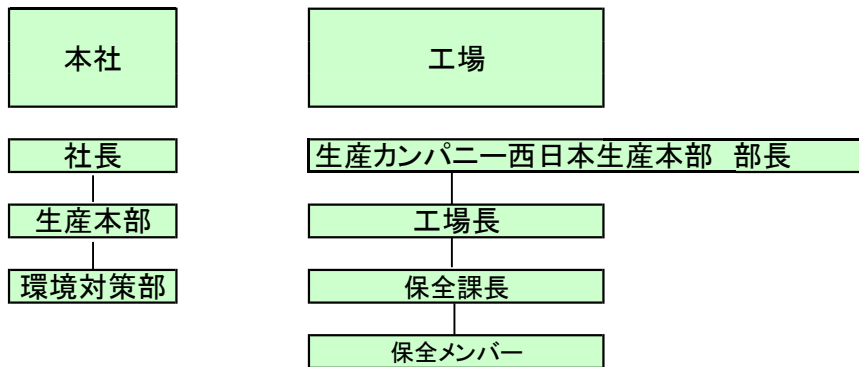
# 資料1

## 廃棄物処理工程図

製造工程	発生箇所	品目	処理(社内)	処理(社外)	
・ポテトチップス製造ライン ・スナック製造ライン ・ジャガビー製造ライン	原料供給	廃プラスチック類	→	委託業者にて燃料加工	
		木くず	→	委託業者にて燃料加工	
		植物性残さ・土砂	→	委託業者にて堆肥化	
	前処理	植物性残さ	脱水処理	→	委託業者にて堆肥化
			脱水処理・乾燥	→	委託業者にて堆肥化
	フライ	廃食油(有価)	→	飼料加工業者	
	味付け	製品クズ(有価)	→	飼料加工業者	
製品クズ(有価)		→	飼料加工業者		
包装	廃プラスチック類	分別	→	委託業者にてリサイクル	
	汚泥	脱水	→	委託業者にて堆肥化	
製造ライン以外	排水処理	ビン・ガラス	→	委託業者にてリサイクル	
		ビン・ガラス	→	委託業者にてリサイクル	
	品質管理	分析廃液(汚泥)	→	委託業者にて焼却	
全工程共通		金属類(有価)	分別	委託業者にてリサイクル	
		廃プラスチック類	分別	委託業者にて燃料加工	
		紙クズ	分別	委託業者にてリサイクル	
		ダンボール(有価)	→	委託業者にてリサイクル	



## 廃棄物管理体制図



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

(管理体制図)

資料1・2

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	排出量	別紙3内訳 t	別紙3内訳 t
	(これまでに実施した取組)		
排水運用コントロールで汚泥排出量の減少（汚泥） 廃棄馬鈴薯の乾燥と含水率のコントロールを行い廃棄量の削減（動植物性残渣）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	排出量	別紙3内訳 t	別紙3内訳 t
	(今後実施する予定の取組)		
継続した排水運用コントロールで汚泥排出量の減少（汚泥） 製造ラインのもれこぼれ対策と飼料原料販売の対象品見直しし排出量の減少（動植物性残渣）			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・プラスチック・紙類・金属類・木くず・ガラスなどの分別リサイクルの実施 継続 木パレット、一部廃プラスチック有償化への取り組み
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・プラスチック・紙類・金属類・木くずなどの分別リサイクルの実施継続と有償化への取り組み。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（ 2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 記載	
	全処理委託量	別紙 3 記載	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙 3 記載	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙 3 記載	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙 3 記載	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙 3 記載	t
	(これまでに実施した取組)		

		【目標】		別紙1, 2のとおり	
		産業廃棄物の種類	別紙3記載		
②計画	全処理委託量	別紙3記載	t		t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3記載	t		t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3記載	t		t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3記載	t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3記載	t		t
	(今後実施する予定の取組)				
<p style="text-align: center;">           継続した排水コントロールで汚泥量の削減            一部廃プラスチックの有価引取先の開拓            動植物性残渣として廃棄しているもののうち飼料向けとして有価販売できるもの見直すことで廃棄量の減少            紙とプラスチックが一体化した廃棄物の細かい分別で廃棄プラスチック量の減少         </p>					
※事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度( 2022年度)実績量

計画：今年度( 2023年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥	1344.67	1400									1344.67	1400			1320.78	1400				
廃油																				
廃酸	2.82	5									2.82	5	2.82	5						
廃アルカリ	0.1	1									0.1	1								
廃プラスチック類	135.4	150									135.4	150	130.26	150						
紙くず																				
木くず	297.54	300									297.54	300								
繊維くず																				
動植物性残さ	355.4	400									355.4	400			352.68	400				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0.28	1									0.28	1								
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0.65	1									0.65	1								
鉱さい																				
がれき類																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
合計	2136.86	2258	0	0	0	0	0	0	0	0	2136.86	2258	133.08	155	1673.46	1800	0	0	0	0





別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	食品製造業
②事業の規模	2022年度生産量 15010 t
③従業員数	280名（2023年3月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	資料1

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙を参照）

資料2

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 排水コントロールによる汚泥量原料 廃棄馬鈴薯の乾燥、含水率コントロールで排出量減少 木製パレットの一部有価販売
②計画	（今後実施する予定の取組） ・汚泥量コントロール継続 ・動植物性残渣の一部飼料向け販売 ・廃プラスチック類の一部プラスチックペレット原料として有価販売

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・プラスチック・紙類・金属類・木くず・ガラスなどの分別リサイクルの実施継続
②計画	（今後，分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・プラスチック・紙類・金属類・木くず・ガラスなどの分別リサイクルの実施継続と有償化への取り組み。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 再生率を上げる為処理委託先でより精度の高いリサイクル先への委託 (ただし同じ焼却処分の場合熱回収と距離の比較とする)
②計画	(今後実施する予定の取組) 再生率向上の継続